

担当 こども支援課 放課後児童クラブ担当 内線 3 3 2 2
こどもの居場所担当 内線 3 3 4 8

目 的

労働等により昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図るため、授業の終了後に遊び及び生活の場を与える「放課後児童クラブ」の運営に必要な経費を補助するとともに、利用児童の増加等に対応するため放課後児童クラブの整備を促進する。
また、こども・若者が安心して過ごすことができる、こども食堂等のこどもの居場所の新規立ち上げと継続的な運営等を包括的に支援する。

事業概要

1 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の充実

9, 585, 015千円

(1) 放課後児童クラブの運営費・整備費等の補助 9, 580, 585千円

放課後児童クラブの利用児童数や開所日数、職員の処遇改善等に応じた運営費の補助及び放課後児童クラブの新設整備や既存施設の改修などの整備費の補助等を行う。

併せて、放課後児童支援員の確保や質の向上を図るため、認定資格研修や就職フェア等の人材確保対策や巡回支援アドバイザー事業等の定着支援対策に取り組む。



(2) 放課後児童クラブの待機児童解消への支援 4, 430千円

放課後児童クラブの待機児童を解消するため、緊急的措置として、児童館、塾、スポーツクラブ等の既存施設を活用した受け皿や多様な居場所を実施する市町村に対して補助を行う。

2 こどもの居場所づくりの支援

47, 319千円

(1) 朝のこどもの居場所づくりモデル事業 13, 574千円

小学校等に見守り員を配置し、こどもを見守る「朝のこどもの居場所づくり」の整備をモデル事業として取り組む市町村に対して補助を実施・検証を行う。

↓ 寄附募集事業

(2) こども・若者と共につくる居場所づくりの支援 33, 745千円

こどもの居場所の認知拡大及び潜在的な担い手、支援者の掘り起こしのため、「こどもの居場所フェア埼玉」を開催する。

また、「こどもの居場所づくりアドバイザー」を各地域に派遣し、こどもの居場所の新規立ち上げと継続的な運営を支援する。

さらに、市町村が地域まちづくり計画区域内で「新たなこども支援活動拠点」を整備するための経費を補助する。



「こどもの居場所フェア埼玉」の開催の様子

こども食堂応援プロジェクト

背景・現状

◆「こどもの居場所」の可能性

民間主導の取組であるこども食堂、学習支援、プレーパーク、多世代交流拠点などの「こどもの居場所」は、食べたり遊んだりするだけでなく、こどもが信頼できる大人と出会うことで自己肯定感を高めることが期待できるなど、社会全体でこどもを育てる拠点として、様々な可能性を秘めています。

◆ 埼玉県としてできること

全てのこどもが生まれ育った環境に左右されず同じスタートラインに立てる社会を目指し、こどもの居場所づくりを行う民間団体等を応援します。

事業目標

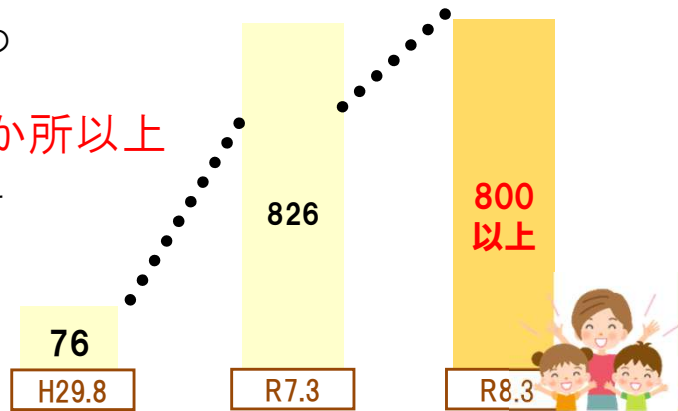
埼玉県のこどもの居場所数

◆こどもが安全に歩いて

通える距離とされる小学校区と
同数程度の

800か所以上

等を目指す



事業内容

こどもの居場所フェアの開催

- ◆ こども食堂やプレーパークなど、こどもの居場所を体験
- ◆ こどもの居場所の運営者×企業等団体のマッチング交流会

掘り
起こし

認知
拡大

支援者

担い手

マッチング推進

ポータルサイトによるマッチング
掲示板を通じて、支援したい企
業・団体と、こどもの居場所団体が
気軽に情報交換



アドバイザー派遣

専門的な知識・経験を持った個人・団体を
アドバイザーとして派遣し、こどもの居場所の
立ち上げ・継続的な活動を支援



派遣

